

知床新聞

発行元
豊頃町立
豊頃小学校
5年
小林千紗

漁業者を守るには

私は携帯基地局が建てることで人の命を救うだけではなく仕事をする人も助かると考える。漁業者が「無線で通信する際、地形的に他の漁船を挟まない」と知床半島まで飛ばないことがある。」と記載されている。2



漁業をしている写真

024年8月24日土曜日北海道新聞で羅臼漁協の任田勉参事は「緊急時にすぐ通信できる連絡手段が欲しい」と言っており、携帯基地局があることで仕事をする時に安心することが出来る。また「海岸線が非常に入り組んでおり、携帯電話の性能を駆使しても不感地帯がある。網羅はできないと思うが、100パーセントに近い状態で携帯電話を使えるようにしてもらいたいのが漁業者の思い」とウトロ漁協の蠣崎優専務理事が語っている。100パーセントに近い状態で携帯電話を使って漁業という仕事をしてもらうため、安心して仕事をしてもらう為には携帯基地局を建てるという事が必要なのではないのでしょうかと私は考える。

自然よりも人命優先

環境相の「人命が最優先だ。利用者の安全性確保の取り組みを進めていきたい。」という意見に「斜里町は漁業があまりさかんじゃないから作らないでよくないか。」と意見あると思う。だが知床半島斜里町にも羅臼町にも面している。両方に面している知床を人命を優先してふたつの町で守っていくことが大切なのではないのだろうか。



沈没してしまったKAZU1

自然も大切

オジロワシ

オホーツク海に面している斜里町には世界自然遺産のオジロワシが登録されて



世界自然記念物のオジロワシ

いる。知床半島に携帯基地局を建てることで世界自然遺産のオジロワシが居なくなってしまう可能性がある。確かに世界自然遺産に登録されているオジロワシを優先することの方が大事かもしれない。だがしかし、上の記事にあるように自然よりも人命を第一優先するべきだと思う。自然や世界自然遺産オジロワシよりも人命第一優先する為には携帯基地局を建てる事が必要なのではないかと私は思う。

携帯以外の 連絡手段とは

携帯基地局を建てることの反対派の知床自然保護協会(斜里町)の遠山和雄理事は「連絡手段が必要ならば衛生電話を漁業者に貸与する検討するべき。」と話した。根室管内羅臼町の港屋検町長は衛生電話は地上から直接衛星に信号を送信し、その衛星が信号を受信して再び地上の受信者へと送信します衛生電話は便利かもしれないが私は衛生電話は手間だと思う。



衛星電話の写真